

新型コロナウイルスワクチンの  
円滑な接種に関する緊急要望

令和3年5月17日

千葉県市長会  
千葉県町村会



現在、新型コロナウイルス感染症は、感染力の強い変異株の急速な拡大とともに、全国的に再び、感染が急拡大を続けている状況にあり、国と地方自治体、事業者、国民が心をひとつにして、この感染拡大を阻止し、収束に向けた道筋をつけなくてはならない。

国においては、ワクチンの総量確保に御尽力をいただいております、我々市町村も、今後のワクチン配分・接種に向けて鋭意準備を進めているところである。

そのような中、4月23日、菅内閣総理大臣が「接種を希望する高齢者に7月末を念頭に各自治体が、2回の接種を終えられるよう、政府を挙げて取り組んでいく。」と表明され、4月30日に接種費用の上乗せなどの支援策が示されたが、未だ十分とは言えない。

さらに、政府より、6月末までの高齢者接種分ワクチンの基本配分計画が示されたところであるが、供給スケジュールは示されたものの詳細は不明であり、医療従事者への接種も終了していない現状の中で、7月末までに高齢者へのワクチン接種を終えるのは大変困難な状況にあると言わざるを得ない。

ついては、我々市町村がワクチン接種を円滑に進めるため、次の事項について早急に措置されるよう要望する。

## 記

### 1 ワクチンに関する情報提供について

- (1) 6月末までに全国の高齢者接種分のワクチン配布を完了するとしていることについて、6月最終週までの各週に、市町村にそれぞれ到着する数量及び配送日時を早期に明確に示すこと。

- (2) ワクチン接種にかかる副反応への過剰な不安を払拭するためには、各医療機関に対し、国、都道府県、日本医師会が、安全性を担保する科学的根拠を示すこと。また、接種の際に、重い副反応疑いがあった場合の搬送先医療機関の調整については、医療機関の監督行政庁である都道府県が主体となって進めること。
- (3) 「7月末までに高齢者へのワクチン接種を終える」との報道を受け、「8月以降は接種を受けることが出来なくなる」と誤解する高齢者もいることから、国民に安心感を与えるよう配慮した情報を発信すること。

## 2 医療機関への対応について

- (1) サテライト医療機関を増やすため、国において医療機関等に対し、原則、医療機関はサテライト医療機関となるよう協力を要請すること。また、このことについて、国主導のもと、日本医師会と協力して対応すること。
- (2) サテライト医療機関に対し、医療機関の規模等に応じて、ワクチン接種のために1日につき一定時間あるいは一定回数以上を確保することなどを要請すること。
- (3) 1人当たりの接種に要する時間を極力少なく効率的にするための工夫として、問診においては、現在治療中の持病がないなどの者に対しては、医師のみではなく、看護師・保健師の確認で可能になるよう対応を講じること。
- (4) 問診及び接種にかかる人員を確保することが難しい市町村に対し、国及び県が、医師及び看護師を市町村又は医療機関に派遣する仕組みを構築すること。

(5) ワクチン接種費用の単価を引き上げること。また、ワクチン接種に係る費用に関し、次の事項について適切な措置を講じること。

(ア) 接種のために休診した医療機関に対し、営業補償等による支援を行うこと。

(イ) 集団接種会場に行くことが困難な在宅介護者等に対して巡回接種を行う際の接種費用を増額すること。

### 3 ワクチン接種について

(1) 高齢者施設入所者の接種については、当該施設内で集団接種する調整を行っているが、当該施設の協力医療機関が個人経営の医療機関である場合は、休診日に接種日の設定をするため日程調整が困難となること、また、地元医師会に対応を依頼する場合も、自身の医療機関での接種に対応しつつ、施設内接種を担うことは過重な負担となることから、次の事項について適切な措置を講じること。

(ア) 国、県の巡回接種チームがワクチンを携帯しつつ、高齢者施設入所者の接種を担うような体制を構築すること。

(イ) 接種チームが、在宅の寝たきり等高齢者への巡回接種を担えるよう併せて仕組みを構築すること。

(ウ) 自治体の集団接種の応援にも対応できるようにすること。

(2) 個別接種を行う医療機関が少ない自治体の住民が、集団接種の日程と合わず、かつ、居住している自治体内に「かかりつけ医」を持たない場合の対応として、市町村境を超えて接種できるような仕組みを構築すること。

(3) オリンピック・パラリンピックに医療従事者の派遣が求められているが、高齢者のワクチン接種は、7月にピークを迎えると考えられることから、派遣される医療従事者は各自治体の接種進捗状況や医療従事者数等を総合的に勘案し、再調整すること。

4 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金について

円滑な接種を実施するために、補助金上限額の大幅な引き上げ、もしくは上限額を撤廃すること。

令和3年5月17日

千葉県市長会長 流山市長 井崎 義治

千葉県町村会長 東庄町長 岩田 利雄